

## 【世田谷区】 胃がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胃部X線検査）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	214,783	249,631	464,414
【東京都調査による対象者率(区部)：60.5%】			
実際の受診者数	6,056	8,589	14,645

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

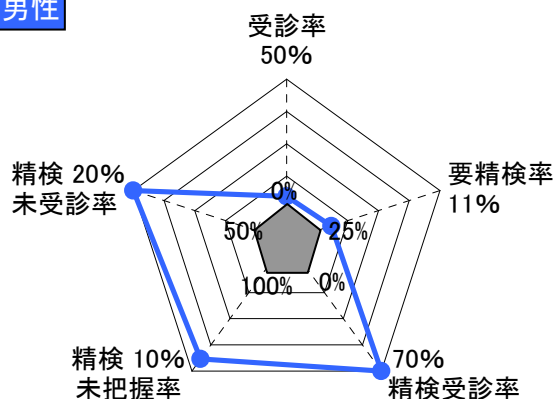
### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

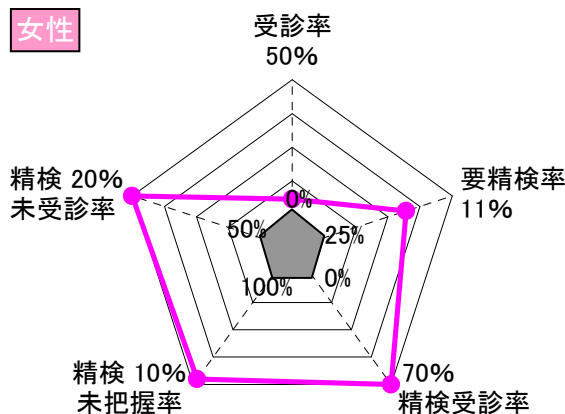
### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	4.7%	5.7%	5.2%
要精検率	11%以下	23.4%	16.0%	19.1%
精検受診率	70%以上	79.4%	85.4%	82.4%
精検未把握率	10%以下	20.4%	14.6%	17.5%
精検未受診率	20%以下	0.2%	0.0%	0.1%
陽性反応適中度	1.0%以上	0.8%	0.8%	0.8%
がん発見率	0.11%以上	0.20%	0.13%	0.16%

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。

## 【世田谷区】 肺がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく肺がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（胸部X線検査及び喀痰細胞診）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	214,783	249,631	464,414
【東京都調査による対象者率(区部)：66.6%】			
実際の受診者数	13,071	20,257	33,328

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

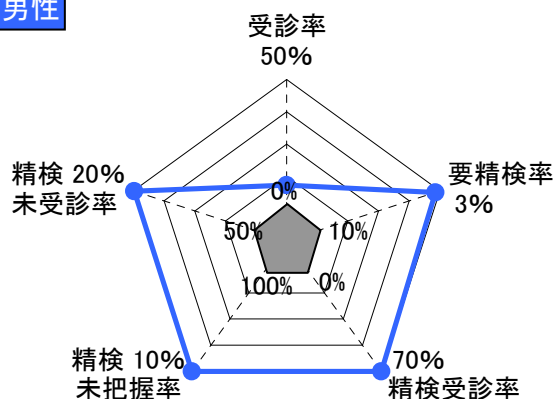
### <区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

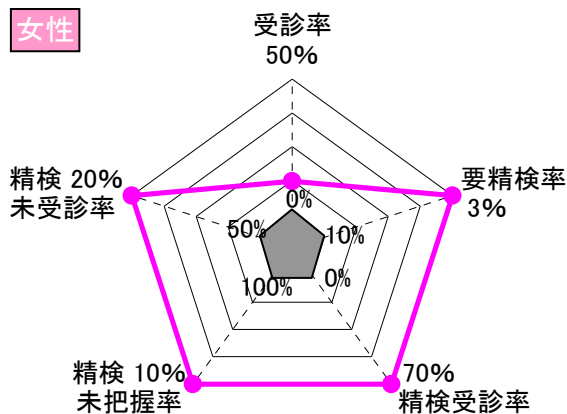
### <がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

	あるべき値 (許容値等)	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	9.1%	12.2%	10.8%
要精検率	3%以下	3.3%	2.2%	2.6%
精検受診率	70%以上	71.6%	76.0%	73.8%
精検未把握率	10%以下	8.2%	5.4%	6.8%
精検未受診率	20%以下	20.2%	18.6%	19.4%
陽性反応適中度	1.3%以上	3.8%	2.7%	3.2%
がん発見率	0.03%以上	0.12%	0.06%	0.08%

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検未受診率>

精検未受診率が高いため、精検受診勧奨を行うなど精検未受診者を減らす取組が重要です。

## 【世田谷区】大腸がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上）	している
検査方法（便潜血検査（二日法））	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口	214,783	249,631	464,414
【東京都調査による対象者率（区部）：66.3%】			
実際の受診者数	19,693	33,346	53,039

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

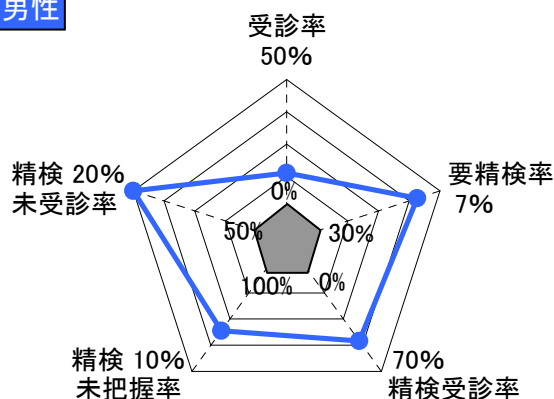
### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	していない
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

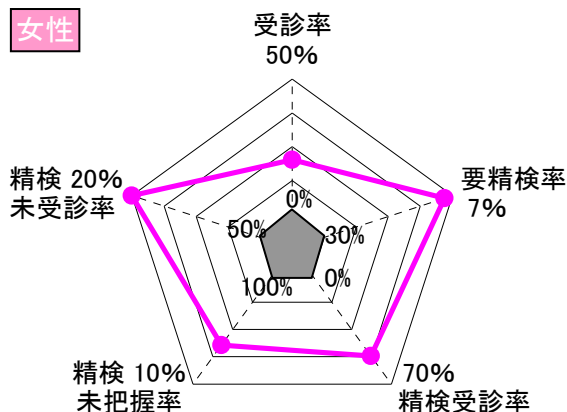
### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%	13.8%	20.1%	17.2%
要精検率	7%以下	11.3%	8.4%	9.5%
精検受診率	70%以上	49.6%	51.9%	50.9%
精検未把握率	10%以下	45.0%	42.3%	43.5%
精検未受診率	20%以下	5.3%	5.8%	5.6%
陽性反応適中度	1.9%以上	4.1%	2.4%	3.1%
がん発見率	0.13%以上	0.46%	0.20%	0.30%

#### 男性



#### 女性



### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。

## 【世田谷区】 子宮頸がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

対象年齢（20歳以上：隔年）	一部毎年
検査方法（細胞診）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		387,570	
【東京都調査による対象者率（区部）：63.7%】			
実際の受診者数		24,353	

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	20～39歳は毎年実施
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		19.3%	
要精検率	1.4%以下		2.8%	
精検受診率	70%以上		57.7%	
精検未把握率	10%以下		39.6%	
精検未受診率	20%以下		2.7%	
陽性反応適中度	4.0%以上		2.8%	
がん発見率	0.05%以上		0.08%	

### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

#### <要精検率>

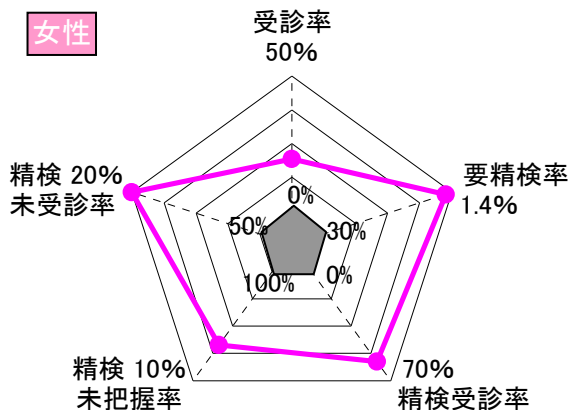
要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

#### <精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

#### <精検未把握率>

精検未把握率が非常に高く、自治体が行う対策型検診としての事業評価が困難です。『がん検診精度管理向上の手引き』等を参考にして問題点を整理し、精密検査結果の把握方法を検討してください。



## 【世田谷区】 乳がん検診 平成25年度プロセス指標等一覧シート

### <国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

対象年齢（40歳以上：隔年）	している
検査方法（視触診及びマンモグラフィ）	している

### <住民の検診受診状況>

	男性	女性	男女計
該当年齢の人口		249,631	
【東京都調査による対象者率（区部）：72.3%】			
実際の受診者数		17,373	

### <国の指針に基づくもの以外の実施状況>

対象年齢以外の実施	していない
左記以外の検査の実施	していない

### <区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

対象者の名簿を作成して台帳管理	している
個別に受診勧奨	一部該当
過去3年間の受診歴を記録	している
精検未受診者への精検受診勧奨	していない

### <がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

	あるべき値 （許容値等）	男性	女性	男女計
受診率	目標値50%		19.7%	
要精検率	11%以下		5.6%	
精検受診率	80%以上		90.3%	
精検未把握率	10%以下		7.9%	
精検未受診率	10%以下		1.8%	
陽性反応適中度	2.5%以上		4.1%	
がん発見率	0.23%以上		0.23%	

### 【評価結果】

#### <受診率>

『効果的ながん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

